

子供たちによる危険箇所、避難経路などの情報入力と、国、自治体等から提供されているハザードマップや地形情報を重ね合わせ、防災への気づきを支援し、住んでいる地域の危険性と特性を学ぶことができます。

## 構成

OSSを利用したWebMapシステム  
 サーバ側 : GeoServer  
 クライアント側 : Heron - M C

背景地図 : 地理院地図  
 ハザード情報 : 液状化、洪水、土砂災害、  
 津波予想深、傾斜地など  
 (公開データを多用)

## 機能

- ・点、線、面およびコメントの入力
- ・ハザード情報との重ね合わせ表示
- ・子供たちが登録した避難経路と浸水ナビの時系列データとの重ね合わせ表示により、臨場感を持たせました。



- ・組織単位での利用のため、IDとPASSが必要です。
- ・ソフトウェアは原則無償で利用できます。

URL : <http://www.osaka-kanmin.com/portal/>

## 利用の流れ

### 事前調整

システム準備 対象地域用のIDとパスワードの登録(システム管理者に依頼)  
 教育委員会、土木事務所等との調整  
 ※ 当該自治体の防災計画等との齟齬が起らないように確認しておく  
 地域のハザード情報(地震、洪水災害、土砂災害、津波予想深、傾斜地など)の確認  
 ハザード情報がない場合は、安全マップ(防犯マップ)の作成に、切り替えても  
 良いでしょう。  
 事前学習用の対象地域の地図を用意  
 ※ 夏休みの宿題等で白地図を事前に配布しておくことも有効



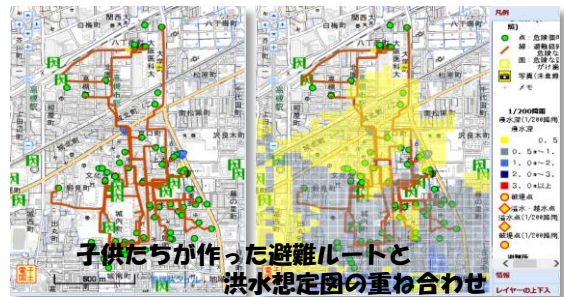
### 事前学習と操作練習

〈防災教育〉 地元の土木事務所または市危機管理室  
 〈システム画面の表示や簡単な使い方を練習〉  
 〈白地図を配布・宿題〉  
 ※ 通学路や日常生活で気付いた危険や気がかりな箇所を  
 白地図に記入。  
 ※ 家族と一緒に災害への備えについて、話合ってもら  
 機会としても有効



### 防災マップ作成

〈PCルーム等〉  
 ・1時間程度  
 各自の避難ルートや気がかり箇所をシステムに登録  
 ・登録後  
 ハザードマップ等を重ね合わせ地域の危険性を学ぶ



### 清書

## 利用実績

大阪府富田林市立 伏山台小学校 (2016年9月)  
 大阪府高槻市立 高槻小学校 (2015年11月)  
 大阪府熊取町立 熊取南小学校 (2014年11月)

開発者 GIS大縮尺空間データ官民共有化推進協議会  
 (大阪府GIS官民協議会) 支援グループ

問合せ先 (一社)大阪府測量設計業協会  
 E-mail oosakass@oak.ocn.ne.jp